

KEIJOJI

菊枝山 慶誠寺 通信

magazine

No.84

<https://www.facebook.com/keiyoji/>



浄土真宗本願寺派 菊枝山慶誠寺

除夜の鐘

幻冬フェスタ

2022



2022年
12月31日(土)



令和4年大晦日、今年も慶誠寺で「除夜の鐘 幻冬フェスタ」が開催されました。慶誠寺の除夜の鐘は、電子雑誌「旅色」にて福井永平寺、長野善光寺など有名寺院と並び、全国除夜の鐘十選に選ばれるほどの人気です。今年も300人以上の方々に賑わいました。慶誠寺の除夜の鐘の楽しみは何といても、恒例の新年を祝うカウントダウンの打ち上げ花火。お寺の隣、龍谷高校のグラウンドから上がる近くで大きな花火は、いつも新年のお祝いとともに歓声があがります。令和4年8月から龍谷高校は移転し、おそらく今年で見納めになる打ち上げ花火。今年よりいっそう鮮やかに打ち上げられました。今回はコロナウイルスが無事収束し、中止されていた恒例のお笑いライブや新春の餅まきなど、開催できることを願います。



菊枝山慶誠寺 こども体験広場

2023年1月11日(木)

1月11日慶誠寺において、こども体験広場実行委員会主催のもと「こども体験広場」が開催されました。このイベントは、子どもたちに自由に色々な体験をしてもらおうという企画。慶誠寺の本堂に、たい焼きのお仕事体験、キーホルダーやパステルアート作り、地域のおじいちゃんやおばあちゃんから教わる凧作りや子ども向け投資体験など、20の子ども用のお店が並びました。保護者には会場と別の場所に待機してもらい、子ども達は自由に好きなお店を選び、お店とのチケットのやり取りやコミュニケーションなども子ども自身が行いました。まさにイベント全てが子どもの体験の場。慶誠寺からもフィンランドの遊びモルック体験で出店し、元気な子ども達に楽しんでもらいました。また、屋外ではテントサウナ体験会が行われ、3台のキッチンカーも来てもらい、10時から午後3時まで多くの方で賑わいました。





福岡市善照寺 七里誓路師

慶誠寺 仏教

婦人会報恩講

福岡市善照寺 七里誓路師

令和4年11月15日(火)

11月法要は毎年恒例で、仏教婦人会の報恩講を併せて執り行われます。今回いらつしやつた布教使の先生は福岡市の善照寺から七里誓路(しちりせいじ)先生です。御讃題は浄土和讃の「十方微塵世界の念仏の衆生をみそなわし、撰取して捨てざれば、阿弥陀と名づけたてまつる」を挙げられました。念仏の衆生を照らす光明のはたらき(撰取不捨の徳)が、阿弥陀如来の名前の由来であると詠われています。言い換えれば阿弥陀様が阿弥陀様である由縁は、撰取不捨の徳にあると示して、そのはたらきを讃えられたご和讃です。阿弥陀様の光明のはたらきを讃嘆するとともに私たちがその光の中にあつて、大きな安心を恵まれていることを喜ばせていただくのがこの和讃であります。

先生は浄土にいくために原因(因)は信心であり、その結果によって浄土に行つて仏様になる、ではこの信心とは何か、浄土真宗以外では拜むべき対象を信じる心、もしくは信仰心などと言い換えることができるけども、浄土真宗では真の心、嘘偽りのない心すなわち阿弥陀様の心をいただくことが信心であり、阿弥陀様の言われていることに何の疑いもない状態を言います。親鸞聖人はこのことを「髓に至り通る」と言う言葉で表現されました。そしてそれが私の口から「南無阿弥陀仏」のお念仏が出てくるようになるのです。阿弥陀様はどのようなものも救うと願われて仏様になられました。私がどんなに忘れようとも、必ず忘れることもない、見捨てても決して見捨てない阿弥陀様のはたらきを撰取不捨と言います。撰取不捨の光明に照らされた人生は、何が起るかわからない人生の中で、阿弥陀様がいつも私たちを見守ってください、大きな安心を恵まれた人

生を歩ませていただくのだとお話しくださいました。

私たちが阿弥陀様の光明に撰め取られたならば、私たちの側からその光明が見えるようになる、直ちに煩惱が消え去ると考えるのは大きな誤りです。「正信偈」では煩惱を雲霧に阿弥陀様の光明は日光に例えています。雲霧があつても日光は決して消えることはありません。阿弥陀様の光明は私たちの煩惱が遮ることなく今ここに届いて撰め取つてくださる様子を「譬如日光覆雲霧 雲霧之下明無闇」「まどいの雲は常に信心(まこと)のそら覆う」と示され、他力信心のありさまであるとお示しくださいました。煩惱まみれであつても阿弥陀様の救いははたらきが届いていることを、よろこばせていただきたいです。

慶誠寺法務員 鎌田大輔

法要会席 5,250円～

雪の屋

旭川市神居町富沢409観音台 Tel 0166-61-2266





兵庫県神戸市 源光寺 源 裕樹 師

宗祖親鸞聖人月忌法要

兵庫県神戸市

源光寺

源 裕樹 師

令和4年12月15日(木)

12月の法要は、神戸市源光寺、源裕樹師からご法話を頂きました。ご法話の中で、『般若心経』のお話がありました。

『般若心経』は正式には『般若波羅蜜多心経』といい、おそらく日本で一番有名なお経典です。そんな『般若心経』ですが、浄土真宗では読経しませんが、なぜか？一応の答えとしては、浄土真宗の宗祖親鸞聖人が用いらなかったからです。ではなぜ？親鸞聖人は『般若心経』を用いらなかったのでしょうか。

御講師は、『般若心経』は仏様の説かれた尊い教えではありますが、私には「間に合わない」教えであるとされました。『般若心経』の御心を聞いてみると、我々の苦しみの原因は、我々が囚(とら)われることにあるといえます。だから、囚われが無くなれば、苦しみが無くなる。だから囚われるなよと示されるのです。何ものにも囚われない心を『般若心経』

では「空(くう)」という言葉であらわしています。

例えば、老いの苦しみは、年をとること自体に苦しみがあるのでなく、年をとりたくないという、囚われの心が苦しみを生むというのです。年をとることの囚われから離れば、楽に生きられます。これは道理から言えば、正しいことでもあります。非常に難しいことです。まして、あらゆる囚われから離れるとなると不可能なことなので、『般若心経』は、私には「間に合わない」お経典だと、いわれたのでした。

お話を聞き以前聞いたお檀家さんの話を思いました。その方は、一人住まいで、近くに住む高齢のご兄弟のお世話をしておられます。家に一人である「自分が死んだらどうなるだろうか」とご兄弟のことで等、心配になり、夜も眠れない時があるといえます。辛くて娘に相談すると、「そんなこと考えても仕方ないでしょ、

死ぬまで死ねないのだから」と返ってきました。親子だから言えるストリートで簡潔な意見です。しかし、たとえ理屈はそうでも、考えてもしようがないから、考えずにいられるかは別問題です。娘の言葉を受け、親子の間柄でも、悩みはわかつてもらえないと感じたといえます。

どこまでいっても囚われから離れられない私に、仏様の方からお念仏となつて働いて下さる、阿弥陀如来の御救いを伝えられたのが親鸞聖人です。御講師は、阿弥陀如来のお慈悲を、聞かせていただくのが浄土真宗のみ教えであると示され、様々な例えをもって仏様の話を、笑いを交えながら伝えて下さいました。御講師の源先生には、4月の永代経法要にもご法話をいただきます。たくさんのお参りをお待ちしております。

慶誠寺法務員 辰巳大之



MORINAGA
株式会社 盛永組

安全・安心 快適な社会環境づくりを!

本社：旭川市4条通5丁目左10号
TEL (0166) 22-0151 FAX (0166) 22-0170
札幌支店：札幌市中央区南1条西6丁目 旭川信金ビル
TEL (011) 271-6495 FAX (011) 221-6897
営業所：東京・関西・関東

<http://www.morinagagumi.co.jp>





福岡県 光願寺 野田成敏 師



明如上人ご命日法要

福岡県 光願寺 野田成敏 師

令和5年1月15日(日)

新しい年を迎えて初めての常例布教は福岡県よりご講師をお迎えして明如上人ご命日法要として勤められました。明如上人は本願寺二十一代門主であり、明治時代にご活躍なされ、当時日本中に吹き荒れた廃仏毀釈の荒波から仏教界を救われた方であります。お勤めの後、ご法話に先立ちまして昨年の法要スタンプラリーの表彰を行ってからの布教となりました。

御講師は先ず御讃題として親鸞聖人御著述の浄土和讃より「十方微塵世界の 念仏の衆生をみそなわし 撰取して捨てざれば 阿弥陀となづけてまつる」の一首を引用されてお話を頂きました。

最初にお話し下さったのは「仏法の理解を手柄にしてはいけない。」そして「法座に来て聞いて忘れて帰る。」ということでもあります。何のことかと思われるかもしれませんが

が、私たちは何かを聞いたり教わったりしたことを覚えた理解できたりすると自身が賢くなったり偉くなったように錯覚してしまい、自分が元々持っていた才覚かのように振舞ってしまうという事でもあります。そこには人よりも少しでも良く思われたりとか上の立場で有りたいたい、といったような思いが見え隠れしています。そういう思いが一体何かといえ、それは「執着」「煩惱」「我欲」または三毒の煩惱(貪欲、瞋恚、愚痴)といわれるものであります。それらは私が生きている限り決して無くなりません。どれだけ仏法を聞いて言葉を覚え理解を深めようとも迷いの世界の中から救われることはありません。私たちは自身で救われていく道を切り拓くために仏法を聞くのではありません。煩惱まみれの救いがたい私が居るから必ず救うと願われた仏さまがおられます。そのためにお誓いを建て行を積み、そ

の名を呼ぶだけで必ず救ってくださる「南無阿弥陀仏」となって下さったのであります。では一体だれの為に何故そうしなければならなかったのか、その根っこにあるものを私は聞かせていただくのです。しかも聞いたからといって「よく分かった。もう大丈夫」とはならないのであります。聞いたことが自身の事としてではなく他の誰かの事のように考え、若しくは聞いたことを人に教えてやろうと自分の手柄の様に考えてしまいませ。これでは「驕り」や「慢心」であり、救われるどころか逆に罪さえ造っています。結局分かったつもりが全く分かっていない自分がいるだけです。そういう分からない私の事を煩惱具足の凡夫というのであります。だからこそ聞いたことを我が手柄の様にして罪を造る前に忘れた方が良いでしょう。そんな煩惱具足の私の為に「必ず救う」と働い

てくださっているのが「南無阿弥陀仏」であります。ご講師はそのことを「法座に来て聞いて忘れて帰る」とお話しなされたのであります。そしてご講師は「名前のある者には働きがある。」とお話しく下さいました。私たちが常々口にさせて頂いている「南無阿弥陀仏」の六字のみ名には「撰取不捨」の働きがあるとお話しく下さいました。その働きとは「逃げる私を何処までも何時までも追いかけて下さり、ひとたび掴まえたならば決してその手をお放しになることがない」ということでもあります。これだけの事を全て阿弥陀仏の方で考え、誓われ、修行して成し遂げられておられたという事であります。それにも関わらずいまだに背を向け逃げようとしている私の姿を教えられたことでありました。

慶誠寺法務員 正平勝導



令和4年 法要スタンプ 完走者表彰

完走者表彰

令和5年1月15日、令和4年に実施された法要スタンプラリー完走者の表彰式が行われました。慶誠寺では「寺まいるカード」というスタンプカードをお渡しし、法要に参加された方に10回以上スタンプを押し、法要スタンプラリー完走者として表彰していただきます。慶誠寺では20回以上参拝された方を金賞、15回以上を銀賞、10回以上を銅賞として顕彰しています。今回の完走者 13名の方々に住職

より賞状と記念品が贈られました。コロナウイルスの影響で法要を中止しているお寺もあると聞く中、慶誠寺では法要時間を短縮したり感染対策をしながら毎月の法要を続けました。毎月のご法縁を大切に、謙虚に法を聞き続ける皆様の姿ほど、活きた仏法はありません。

今年も法要スタンプラリーにたくさんのご参加をお待ちしております。

顕彰者 (順不同・敬称省略)

- | | | | | | | |
|------|--------|------|------|-------|-------|-------|
| 沼田順子 | 山本良子 | 山本民子 | 宮串恭子 | 足立美也子 | 池尻セツ子 | 田中みえ子 |
| 鈴木マサ | 佐々木トキ子 | 津田和子 | 天野通江 | 永井絹子 | 佐久間順子 | |





モルツクで遊ぼう

令和4年11月27日(日)

お寺で学ぶ、お寺で遊ぶ、

安心の子どもサークル



きくし塾

2022-2023

TERAKOYA KIDS
寺子屋キッズ!



寺子屋キッズ!
きくし塾への入会申し込みは
いつでも受付しています。気軽にご連絡下さい。

TEL 0166-31-2871 (慶誠寺)



スノードームをつくらう

令和5年1月29日(日)



令和五年最初の寺子屋キッズはスノードームを作りました。スノードームとは、透明な容器に水などの透明な液体で満たし、人形・建物などのミニチュアと雪に見立てた物を入れ、雪が降っている風景を作るものです。

今回は参加した子ども達にガラスの容器とスノードームの中に入れる人形を持参して頂きました。蓋にスポンジをつけ、スポンジに人形等をつけ、水のリと水を混ぜて容器に入れて、最後に雪に見立てた物を入れて完成。スノードーム完成後、境内で雪遊びをしました。

慶誠寺法務員 鎌田大輔

慶誠寺法務員 鎌田大輔

婦人会告知

もの作り教室を開催します。

5月26日(金) 10時～

6月23日(金) 10時～

お気軽にご参加下さい。

内容詳細等、ご興味のある方慶誠寺にご連絡下さい。

TEL0166-31-2871

お寺でごはん

みんなで食べると
おいしいね!

お寺で、みんなで楽しく食事をしませんか? 食事の後は仏様にお参りさせていただきます。慶誠寺仏教婦人会の方々が手作りの料理をご用意します。お一人様でも、友達や家族と一緒にのご参加もお待ちしています。



日時

4月15日(土) 7月15日(金)

5月15日(日) 10月15日(土)

11時00分～12時30分頃

※遅くとも11時半までにはお越しください。
事前お申込み不要 気軽にお越しください。

参加費

300円

場所

慶誠寺 一階 慈光の間
旭川市豊岡5条4丁目4-14

【全日程共通】

ご法要 13時00分～13時30分

ご法話 13時30分～14時00分

お問合せ

TEL 0166-31-2871



慶誠寺法務員
正平勝導

マサ坊の



小細工しても良からうもん

えの式

前回に引き続きまして今回も車のちょっとしたメンテナンスをやっていきます。今回はワイパーと室内灯、そしてヘッドライトです。

Start!

メンテナンス:ワイパー



④ワイパーゴムの片側はこのようになっています。



①ちょっと呆けていますがこれはワイパーです。アームとブレードの接続ポイントです。写真中央より少し右に四角い部分があるのがわかるでしょうか。これを手前に引っ張りながらブレードを引っ張ると…



⑤④の反対側からブレードの枠に通していきます。



②このように外れてきます。



⑥出来上がりです。



③ワイパーゴムを取り替えます。カー用品店などで幅と長さを確認して購入して下さい。

Finish!!

二回にわたって作業してきましたが如何でしたでしょうか。車の点検や整備というと何だかすごく難しい事のように感じますが、興味を持って良く見てみると自分でも出来そうなことって案外沢山あるものです。ぜひ挑戦してみてください。

Start!

メンテナンス:ヘッドライト



10

⑩前回に続いて再びヘッドライトですが今回は外側です。何だかすんでしまっていていかにも暗そうです。



11

⑪用意するもの。やわらかい布。金属磨きのピカール。(粒子の細かい研磨剤ならOK、専用品も有ります)



12

Finish!!

⑫後はひたすら磨くのみ!!で、綺麗になりました。先日、車の整備をしている友人から聞いたのですがヘッドランプのくすみは車検の時に問題になるらしいので確認しておきたいものです。

Start!

メンテナンス:室内灯



7

⑦次は室内灯です。レンズ部分はマイナスドライバーで軽くこじってあげると簡単に外れます。



8

⑧元々ついていた電球を外してLEDの物を取り付けました。電球の形状は車種やついている場所によって異なります。確認してから購入して下さい。交換は至って簡単。刺さっている、はまっている、というレベルの取り付けしかされていません。要は外して取り付けるということです。



9

Finish!!

⑨レンズを取り付けて完成です。



徳川家康

No.13



江戸幕府成立



関ヶ原の戦いに勝利した家康は、戦後の論功行賞を行い、西軍諸大名から大幅に領地を奪い、弱体化させます。

更に戦いには無関係としたものの豊臣家が全国に持っていた領地を奪い、大坂周辺の摂津・河内・和泉の三国を支配する一大名にしてしまいます。そして味方になった大名には大幅な加増を行います。京・大坂、関東、東海といった地域から離れた地域に配置します。そして慶長8年（1603年）、朝廷より征夷大将軍の宣下を受け、江戸に幕府を開きます。家康はまず大名の統率に取り掛かります。まず、家康の子供達、親戚が親藩、関ヶ原の戦い以

前から家康と主従の関係を結んでいた大名は譜代、それ以外を外様としました。親藩は石高が多いのですが、江戸から離れたところに置いていました。譜代は20万石を超える石高を有する大名（20万石を超えるを大大名）は存在しませんでした。こうすることで将軍を超えるような存在を出さないようにしました。外様は遠隔地に配置されていた上に幕府の運営には参加することができませんでした。更に大名の財政負担を増やし、軍事力拡大を防ぐために、天下普請と大船製造禁止を定めます。天下普請とは徳川家の城や新築や改修、河川の改修などを大名の負担によって行わせるものでした。これは石高に応じて仕事の内容が決まるので、大大名になればなるほど負担が大きくなりました。そして大船の製造を禁止することで、水軍の強化をさせないことを目的にしました。

将軍就任から2年後の慶長10年（1605年）、家康は將軍職を3男秀忠に譲り、自らは駿河の駿府（現静岡県静岡市）に隠居します。この時候補は三人とされていました。秀忠と次男結城秀康と四男松平忠吉です。しかし早い段階から秀忠に決めていたようです。というのも次男秀康は既に他家に養子にでていましたし、四男忠吉は優秀であったのですが、実は関ヶ原の戦いの時に負傷した影響で病気がちになっていて、2年後には亡くなっています。その為ずっと手元に置いて

育っている上に家臣たちも幼い頃から知っている秀忠が後継に相応しいと考えていたようです。これで徳川家が將軍職を世襲していくことを天下に示しました。

隠居した家康にとって、最後にして最大の問題は豊臣家の存在でした。しかし滅ぼそうとは考えていなかったように思います。関ヶ原の戦いの直後に適当な理由を付けければ滅ぼすことは可能だったのです。しかし秀頼には自身の孫娘である千姫を嫁がせていました。更に秀頼の官位を上げるように朝廷にも奏上していました。いずれは武家から公家にすることを考えていたようです。しかしそのために障害になるのは、大阪城の存在でした。もっと言えば大阪城さえなければ豊臣家など、どうでも良かったのです。大阪城はこの当時世界最大級の広さを誇り、その中には秀吉が生前に蓄えていた金銀が大量に有していました。これらを利用して天下を乱す存在が現れるのが何よりも恐れていました。自身が生きていくうちにはなんとかなるかもしれないが、死んだあとと秀忠で解決することができるとか考えるようになりません。

慶長16年(1611年)、京の二条城で成長した秀頼と対面します。この対面は徳川家が豊臣家より上位にあることを天下に知らしめることを目的としていました。家康は聡明な秀頼とその傍らに控えていた加藤清正の存在に改めて危機感を覚えたと言われています。

す。

想像を遥かに超えるくらい秀頼が優秀な存在にあったこと、豊臣恩顧の大名が今でも豊臣家への忠誠心を持っていることに驚いたのです。しかし家康に幸運が訪れます。その加藤清正が亡くなってしまいます。さらに豊臣系の有力大名であった浅野幸長、池田輝政が次々と亡くなります。



方広寺大仏殿 鐘銘事件

慶長19年(1614年)、豊臣家が再建を進めていた京の方広寺大仏殿が完成します。そこで大事件が勃発します。世に言う「方広寺大仏殿鐘銘事件」です。この起こりは方広寺にあった鐘に刻まれていた文字が問題になりました。「国家安康 君臣豊楽」これは「国家安康」の部分の家康の諱(身分の高い人物の実名)を分断切断して刻むの

は不穏とし、「君臣豊楽」は豊臣を君主として楽しむものではないのだとして、方広寺の落慶法要(寺院・神社の建物が完成したことを喜び祝う法要)の中止を命じます。かつては家康が無理矢理ケチをつけた、挑発したとか色々言われていますが、この行為はこの時代には決して許されるものではなかったのです。家康の怒りは当然ではなかったのでしょうか。7月に弁明の為、豊臣家の外交、財政を担当する片桐且元を家康がいる駿府に送りますが、弁明を受け入れずに秀頼が江戸に参勤するか、淀君を人質として江戸に送るか、大阪城を退去して国替に依るかの三択を迫ったのです。

この時まで家康は豊臣家を残そうと考えていたようです。しかし豊臣家にとってはどれも飲めるようなものはありませんでした。その後豊臣家は交渉に当たった且元と他の重臣たちの確執が起きます。且元が家康に内応していると疑われたのです。命の危険を感じた且元は大阪城を退去することになりました。このことに家康は激怒し、交渉は完全に破綻しました。家康は諸大名に出兵を命じます。その数20万人。

豊臣家は豊臣恩顧の大名や浪人たちに檄を飛ばして徳川との戦いの準備を始めます。そして大坂にある蔵屋敷(大名の年貢や領地の特産品を販売する為の倉庫)から蔵米を接収します。大坂城にある莫大な金銀を用いて浪人

は雇えることはできたのですが、諸大名は大坂城に来る大名は一人もいませんでした。既に多くの大名は代替わりして豊臣家に対しての恩義の感情はありませんでした。浪人は約10万人が集まったとされています。その多くは歴戦の勇士です。中には長宗我部盛親、明石全登、後藤基次(又兵衛)、毛利勝永、塙直之、真田信繁(幸村)、大谷吉治といった、かつては大名もしくはその子弟がいました。しかしその多くは豊臣家の金で集まった野盗同然の浪人がほとんどでした。ここに戦国最後の大战「大坂の陣」の火蓋が切られるのです。

最終回に続く

告知

令和5年
3月14日(火)
18:40~19:00

TERAKOYA KIDS
寺子屋キッズ!

慶誠寺の子ども会
寺子屋キッズサークルが
NHK「ほっとニュース道北・オホーツク」にて
北海道教育大学旭川校から紹介されます



春季永代経法要のご案内

令和5年4月15日(土)~4月17日(月)

4月15日(土) 11時~12時30分 **お寺でごはん**

13時 **立教開宗記念法要**

4月16日(日) 11時~ **浄土真宗門信徒入門式**

浄土真宗門徒として最低限、覚えておかなければならないことをわかりやすくレクチャーします。対象は、令和2年から令和4年までの新たに当寺門信徒になられた方、及びご家族が亡くなられた方となっています。対象者には当寺からご案内をお送りさせていただきます。

案内状1枚で2名様まで、お弁当が付きます(追加1名毎にお弁当代1000円)

13時~15時 **〈特別法要〉門信徒総追悼法要**

当寺の門信徒で令和3年1月1日から令和4年12月31日までにお亡くなりになられた方の追悼法要を4月16日日曜日に慶誠寺にて勤修します。ご遺族の皆様は、過去帳、法名軸などをお持ちの上、ぜひご参拝くださいますようお願い申し上げます。

4月17日(月) 13時 **春季永代経満日中法要**

全日程共通



ご講師 神戸市 源光寺 源 裕樹 師

源先生は、昨年12月の法要に続いての出講となります。

ご本山の西本願寺や築地本願寺でも布教される人気の若手布教師です。

●ご法要/13時00分~13時30分 ●ご法話/13時30分~15時00分

**総永代経法要は、亡くなられた方々の遺徳を偲ばせていただき、その悲しみをご縁として仏縁に出逢えることを
歓ばせていただく法要です。**

春の総永代経法要には、ご自宅にある過去帳、法名軸、ご位牌などを参拝者の皆様が各自お持ちよりください。法要期間中に、慶誠寺のご本尊前にご安置してご法要を勤めさせていただきます。また、過去帳などをご安置した場合は、ご法要、ご法話などの途中での退席はできませんので、最後までご出席をお願いします。合わせて法要終了後には、各自忘れずに過去帳などをお持ち帰り下さいますように重ねてお願い申し上げます。

すべての法要は13時から開式となりますので、過去帳、法名軸、ご位牌をお持ちの方は、開式10分前までには必ず受付を済ませて下さい。

春季彼岸会のご案内

令和5年**3月20日(月)~22日(水)**

■**勤行** 13時00分~13時30分(30分)

■**法話①** 13時30分~14時10分(40分)

■**法話②** 14時20分~15時00分(40分)

どなたでもお参りいただけます

会場: **菊枝山慶誠寺 慈光**

併催 第18回 慶誠寺布教大会 (令和5年)

開催日	法話内容	講師
3月20日(月)	法話① 人生そのものの問い	正平勝導(法務員)
3月21日(火)	法話① 愚者のよろこび 法話② 聞くことは信心なり	石田慶嗣(住職) 辰己大之(法務員)
3月22日(水)	法話① 凡夫	鎌田大輔(法務員)

お彼岸の中日、春分の日と秋分の日には昼夜の長さがおおよそ同じで、太陽が真東から昇り、真西へと沈みます。お彼岸は、真西に沈む夕陽を拝み、いのちの帰る場所西方にあるお浄土を想い、先立たれた方々を想う機縁とされてきました。

彼岸という言い方は「到彼岸」を略したものです。これはインドのサンスクリット語の「パーラミター」(波羅蜜多)を訳した言葉で、彼岸へ到達するという意味です。彼岸とは仏様のお悟りの世界を意味します。それに対し、こちら側の世界は迷いや苦悩に満ちた世界、此岸(しがん)といい、私たちの生きる世界をさすのです。

お彼岸とは、いのち終えて生まれていく悟りの世界。仏となった懐かしい方々がおられる、阿弥陀様の西方浄土のことです。お彼岸にはお浄土へ先立って往かれた方を偲びつつ、今を生きる私が仏法を聞かせていただくご縁といたしましょう。

2023年 慶誠寺年間行事スケジュール

(令和5年)

掲載のスケジュールはどなたでも参加頂けます。お気軽にご来寺下さい。

3月15日(水)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
----------	-----	------------

〈春季彼岸会〉3月20日(月)～3月22日(水)

3月20日(月)	13時	春季彼岸会
3月21日(火)	13時	
3月22日(水)	13時	第18回慶誠寺布教大会

春の法要期間

〈春季永代経法要併修〉4月15日(土)～17日(月)

4月15日(土)	13時	立教開宗記念法要
4月16日(日)	11時	門徒入門式
	13時	門信徒総追悼法要
4月17日(月)	13時	春季永代経 満日中法要

5月15日(月)	13時	宗祖親鸞聖人降誕会
6月15日(木)	9時	仏具磨き/草刈り奉仕
	13時	聖徳太子御命日講
7月15日(土)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
7月23日(日)	11時～13時半	慶誠寺関東在住の門信徒の集い in築地本願寺
8月21日(月)	9時	仏具磨き

〈宗祖親鸞聖人報恩講〉9月10日(日)～9月12日(火)

9月10日(日)	13時	初逮夜法要	コロナウイルス 感染状況により 変更有り
	7時半	晨朝勤行	
	11時	日中法要	
9月11日(月)	13時半	大逮夜法要	
	16時	初夜法要	
9月12日(火)	7時半	晨朝勤行	
	10時	満日中法要	

〈秋季彼岸会〉9月22日(金)～24日(日)

9月22日(金)	13時	秋季彼岸会 第19回慶誠寺布教大会
9月23日(土)	13時	
9月24日(日)	13時	

10月15日(日)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要 (世話人会・婦人会追悼法要)
-----------	-----	------------------------------

〈秋季永代経法要〉10月28日(土)～10月30日(月)

10月28日(土)	13時	秋季永代経法要
10月29日(日)	11時	還暦古希喜寿傘寿米寿卒寿のつどい
	13時	秋季永代経法要
10月30日(月)	13時	秋季永代経法要

11月15日(水)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要 (仏教婦人会報恩講)
12月15日(金)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
12月31日(日)	22時半	除夜の鐘 幻冬フェスタ2023

「キャリア楽しい」「一緒に遊ぼう」という声が本堂から聞こえてくる。2005年に北海道教育大学旭川校に通っているご門徒の大学生と共に、地域の子どものための居場所づくりと大学生の教育実践の場として、寺子屋キッズを立ち上げてから18年が経った。▼創立時の大学生スタッフも良い年齢になった。そのスタッフのひとりが北海道教育大学旭川校の准教授になり顧問として、寺子屋サークルを見てくれるのは頼もしい限りだ。▼寺子屋キッズは、毎月お寺で開催している。内容は、本堂に集まってみんなで読経をして、お坊さんの法話を聞き、大学生の感話があり、毎月のテーマの沿って色んな遊びをする。例えば、「段ボールハウスをつくらう」は、夏休みに段ボールを作っている工場の社会見学からスタート。本堂いっぱい段ボールハウスの街ができた。そこでの寝泊まりは、子ども心に素敵な思い出になったに違いない。また、毎月の活動は、落ち葉を集めて、焼き芋をしたり、大きな模造紙に手形や足形で桜の木を描いたり、アイスキャンドルを作ったり多岐にわたっている。そのアイデアはお寺の職員と一緒に、大学生が指導案を作りながら考えているのだ。▼こうした地道な活動が認められ、3月14日には、NHKの「ほっとニュース北海道」で北海道教育大学から生放送される予定になっている。▼道徳教育の大切さが叫ばれる中、手を合わせ感謝することのできる学生が、毎年教員として、巣立って行く。慶誠寺は、地域に根差したお寺として、様々なご縁を結びながら、これからも子どもたちの異年齢交流と、大学生の教育実践の場を提供していきたいと思う。



住職の戯言

『日々是々』

寺子屋キッズ

慶誠寺住職 石田慶嗣